

教育委員会部局

特別支援教育を充実

は平成21年度末の見込みです。
尻海地区は、幹線管渠の一部区間を建設した後、住宅地域の管渠工事の着手が遅れていました。が、間もなく着工の予定です。供用開始は、21年度末の見込みです。

総合的な消防防災体制の整備を図る

消防施設の整備について、最新鋭の災害対応特殊はしご付消防自動車が増車され、従来以上に充実した消防活動が行えることになりました。

19年度も合併以来行ってきた、大規模な災害を想定した総合防災訓練を長船地区で実施するほか、

か、6月に吉井川河川敷で国土交通省主催の吉井川水防演習に参加し、災害対応体制の強化を図っていきます。

これまで「特殊教育」と呼ばれていた障害をもつ児童・生徒への教育が、19年度から「特別支援教育」と呼ばれるようになります。名称の変更とともに、その中身も大きく変わり、これまでよりも幅広く障害に関わっていくこととなります。

本市でもこの「特別支援教育」の充実に向けて、県教育委員会に「特別支援学級」や「通級指導学級」の新設・増設などを要望しています。

牛窓町総合福祉センターを牛窓町公民館に移譲し活用

瀬戸内市社会福祉協議会から、牛窓町総合福祉センターの施設を市に無償譲渡されることにつ

いて、県の了承が得られました。市長部局と教育委員会の協議の結果、このセンターの建物を「牛窓町公民館」として活用し、邑久町公民館・長船町公民館と同様に常駐の職員を配置。積極的に自主事業を展開し、生涯学習の拠点となる公民館として文化・芸術に触れる機会の充実や住民の自主活動の場として活用していきます。

また、社会福祉協議会牛窓支部の事務所については、公民館内の一部を使用することとしています。

小・中学校のパソコンを整備し瀬戸内市教育ネットワークを構築

市内の小・中学校のパソコン機器や校内LANのすべてを整備し、学校間の格差、均衡を図るとともに、セキュリティ対策をより効果的に一括管理できる専用



教育ネットワークが構築され、情報教育が充実します

のネットワーク（瀬戸内市教育ネットワーク）を構築します。18年度中にネットワークやセンターサーバーの整備・市内3中学校と牛窓町3小学校のパソコン教室の整備を進めているところで、3月末に完成します。19年度は市内7小学校のパソコン教室の整備や校内LANと校内LANで使用するパソコンを整備し、2学期から基本的なソフトを統一して、センターサーバーから配信するなど、市内小・中学校の情報教育に対する環境の充実と均一化を図ります。

生まれ変わる「瀬戸内市民病院」

地域の皆さんに親しまれた二病院の名称が変更

長年親しまれてきた市内の二病院の名称を、本年4月から変更し、「瀬戸内市立瀬戸内市民病院」・「瀬戸内市立瀬戸内市民病院牛窓分院」として生まれ変わります。

通称「邑久病院」は、昭和27年に「邑久町立病院」として開設。平成16年11月の合併で、瀬戸内市が誕生したのを機に「瀬戸内市立邑久病院」と名称を変更しました。

通称「牛窓病院」は、昭和20年に「町立牛窓病院」として開設。同じく合併時に「瀬戸内市立牛窓病院」と名称を変更しました。両病院は共に長い伝統を有し、地域の皆さんに親しまれてきました。

病院事業管理者を設置して病院改革

両病院は、平成18年4月に病院事業管理者を設置して、病院改革にとりかかりました。

行動の目標は、第1が真の意味での組織の一本化と安全・安心な医療の提供体制の確立。

第2は入院施設の一本化と具体的な集約計画。
第3が新病院の建築計画です。

第1は組織の一本化

病院組織は、合併時に瀬戸内市立病院として一本化しましたが、長い伝統を一度に変えることはできず、実際には二つの病院が並んでいる状態でした。一つの市に二つの組織は必要なく、合併の効果も発揮できません。

このたび、真の意味で組織を一本化し、「本院・分院制」を採用して、業務を順次統合する予定です。

従来から、やさしさを基調とする安全で安心な医療を目指してきましたが、より高い目標を目指し、職員研修を重ねています。

第2は入院施設の一本化

現在の「邑久病院」は80床、「牛窓病院」は82床で、診療科もほぼ同じです。同規模・同機能の二つの病院を運営することは、人的・物的資源の有効活用から不可能で、将来は一本化にせざるを得ません。

ただし、外来診療は地域性を重視する必要がありますので、将来も複数の診療施設を維持していきます。

具体的な行動としては、本年

4月に組織を統合して「本院・分院制」を開始し、同時に入院病床の集約を開始します。本院3階のナースステーションを再開し、より高い看護配置とし、フル稼働を目指します。分院の病床については、将来は縮小する計画ですが、直ちに入院を完全に休止するわけにはいかないため、現時点ではほぼ同機能を維持します。

第3は新病院建築計画

現在の建物は共に非常に古く、変動の激しい現在の医療情勢についていけません。現在求められている医療を遂行するには、病院の新築が避けられず、病院内外の情報分析して、検討を開始していく予定です。

病院で最も大切なことは「安全・安心な医療」です。全職員意識を統一して、時代に即した医療を提供していきます。

市民の皆さんのご意見・ご要望をお寄せください。

瀬戸内市民病院

☎0869-22-1234